

東日本大震災 救援・復興に尽力します

日本共産党は、東日本大震災の痛ましい犠牲となった方々にたいしてついでに哀悼の意を表するとともに、被災者の皆様からのお見舞いを申し上げます。
 今回の地震津波災害で被害を受けた方々を救援するため、日本共産党は、全国で被災者救援の募金活動を行い、連日多くのみなさんからのご支援が届いています。被災地で活動する党組織と党員は、被災者の方々の実態と要望をつかみ、その苦しみに応える活動に全力を尽くします。今後も震災救援募金へのご協力をお願い致します。



私たちは、住民が主人公の市政を実現するため全力で取り組みます！

くらし輝く
大野城へ

子ども達の輝く瞳がすき

元気なおじいちゃん、

優しいおばあちゃんの笑顔がすき

毎日行く商店街がすき

友達がすき・兄弟がすき・人がすき

だから、大野城が大好きなんだ

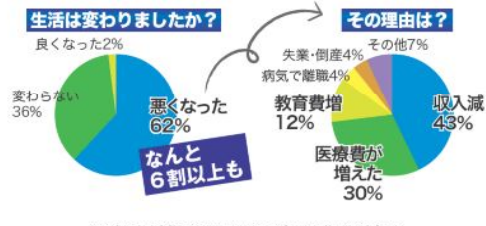


「生活が苦しくなった」の声、多数。

先の見えない不況、あいつぐ倒産、就職難、物価の上昇…。

日本共産党では、生活相談会、アンケートなどで市民の皆さんからのご相談・お悩みを伺っています。本党に多くの悲鳴が上がっています。

特に多いのは、「年金が減って、介護保険・国保税が払えない」「仕事が無く生活が出来ない」「病気になるのに、病院にも行けない」など、深刻な状況のものです。私たちは、問題解決のために全力を尽くして取り組みます！



地域活性化、くらし・福祉・教育に全力！

いまこそ、

日本共産党

安全・くらしを守る市に！ まずは治水と耐震工事から

地震だけでなく、大野城及び近隣の市では、河川の氾濫が大きな心配の種になっています。福岡市ではレインボープランが進み、御笠川の改修工事後、氾濫が起きにくくなっており、これを大野城市に応用できないかと考えます。少し離れた場所に雨水調整池を作る方法は、環境にも優しく約26億円で実施できます。太宰府市・筑紫野市と合同で実施すれば1市あたりの負担は軽くなります。今以上のダム開発はせず、河川の治水事業に予算を回す方が有益と考えます！
 また家の耐震工事などにも利用でき、経済効果も見込める住宅リフォーム助成制度を早急に成立させるべきです。
 私たちは、皆さんの声を市政に届けます！



▲09年7月の集中豪雨で氾濫した平野川(御笠川上流)

8年間 一度も休まず議会質問し、発言回数は 1600回超!